

## 大学院生のご紹介

第13期大学院生 石井 隆太  
(第10期OB)

OB・OGの皆様、こんにちは。小野晃典研究会第10期OB・第13期大学院生の石井隆太です。2018年度は、浙江越秀外国语学院からの王咏奕さん（イングリッシュネームで“エディ”ちゃんと呼ばれています）を新たに迎えて、小野ゼミ大学院生は全体で4名となりました。本稿では、大学院生の簡単なプロフィールと研究活動について、皆様にご紹介申し上げます。

### 中村 世名 (なかむら せな, 第10期OB・第12期大学院生)

現在の学年：博士課程3年

研究テーマ：「製品戦略の意思決定と成果」

企業の製品導入行動パターンの規定要因とその成果を研究しています。

今年の成果：「市場創造企業による後発製品に対する競争的反応」、『市場創造研究』、第7巻、第1号、pp.17-28, 他.

最後に一言：4月から専修大学で働きます。授業・ゼミでマーケティング実務についてお話しいただける方がいらっしゃいましたら、是非お願いいたします。



### 石井 隆太 (いしい りゅうた, 第10期OB・第13期大学院生)

現在の学年：博士課程2年

研究テーマ：「デュアル・チャネルの選択と管理」

企業が直接販売と間接販売の両方を行うのはなぜか、そうしたデュアル・チャネルを企業はどのように管理すればよいのか、について研究しています。

今年の成果：「マーケティング・チャネルにおける対立に関する研究：再検討」、『JSMD レビュー』、第2巻、第1号、pp.29-38, 他.

最後に一言：4月から福井県立大学にて、大学教員として働くことになりました！福井にいらっしゃった際には、是非ともご一報ください！



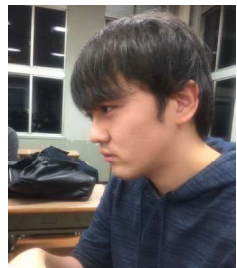
### 清水 亮輔 (しみず りょうすけ, 第13期OB・第15期大学院生)

現在の学年：修士課程2年

研究テーマ：「SNS上のeクチコミが消費者行動に及ぼす負の影響」

今年の成果：“Negative Impacts of Online Word-of-mouth Communication: The Role of Envy,” *Proceedings of 2018 Global Marketing Conference*, p. 613, 他.

最後に一言：今年も元気よく生きていきます！



## 王 咏奕 (おう えいえき, 第 16 期大学院生)

現在の学年：修士課程 1 年

研究テーマ：「SNS での写真のシェアは、旅行へのエンゲージメントとエンjoyメントを阻害するのか、それとも、促進するのか」

今年の成果：“Does Photo Sharing via SNS Reduce or Enhance Travel Engagement and Enjoyment,” *Proceedings of 2018 Global Marketing Conference*, p. 797, 他.

最後に一言：今年もゼミ生と一緒に頑張っていきたいと思います！



以下では、2018 年度の大学院生の主たる研究活動を、「執筆活動」と「学会活動」に分けて、それぞれご紹介申し上げます。

### 執筆活動の紹介

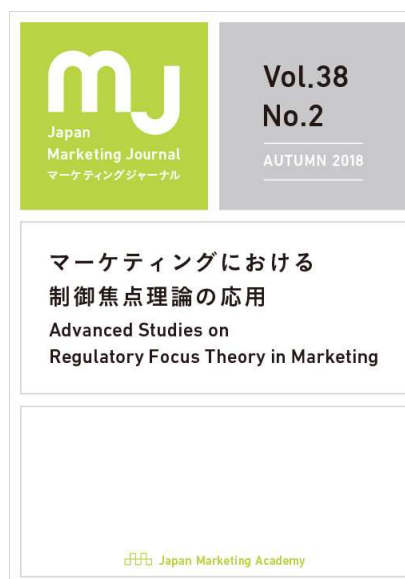
日本マーケティング学会が擁する学会誌『マーケティングジャーナル』において、2018 年秋号として、小野先生をゲストエディターとした特集号が発刊されました。特集タイトルは、『マーケティング分野における制御焦点理論の応用』です。制御焦点理論とは、良い結果の有無を重要視する促進焦点の人と、悪い結果の有無を重要視する予防焦点の人では、意思決定や行動が異なると主張する理論です。これは、心理学分野の理論ですが、理論の明快さ・含意の豊富さから、マーケティング分野への応用が盛んに進んでいます。最近では、小野ゼミ生の卒業論文でも頻繁に用いられる、ゼミ内人気 No.1 の理論です（笑）（直近の 4 年間ですと、第 15 期の野口裕貴さんと福田笙一くん、第 14 期の江黒夕夏さんと吉永瑞季さん、第 13 期の長妻泰成くん、第 12 期の小野寺隆志くんと平嶋健也くんが、当理論を用いて卒業論文を執筆しています）。本特集号には、現役大学院生、および、大学院ゼミ OB・OG の先生方の論文が多数掲載されました。下記は、それらの論文タイトルの抜粋です。他の先生方の論文も含めて、本特集号に掲載された論文は、ウェブページから無料で入手できますので、ご興味のある方は、是非アクセスしてみてください。

小野晃典、「巻頭言 制御焦点理論：マーケティング分野における  
応用」

竹内亮介、「消費者の制御焦点と広告回避」

石井隆太・菊盛真衣、「制御焦点がチャネル選択・推奨に及ぼす影  
響：マルチ・チャネルショッピング行動の分析」

小野雅琴・清水亮輔、「ロコミ発信者に対する妬みはロコミ受信  
者による推奨製品の忌避に帰着するか：制御焦点理論に着  
目して」



## 学会活動の紹介

今年度も、国内外で多数の学会に参加して、研究発表を行って参りました。以下では、学会名・開催場所・発表タイトルをご紹介いたします。

### 2018/04/21 : 日本商業学会 関東部会 (上智大学)

中村世名, 「企業の競争的マーケティング意思決定：その促進／抑制要因に関する実証研究」.



### 2018/07/26~07/29 : Global Marketing Conference (Hotel New Otani)

Ryuta Ishii, “International Market Entry: An Analysis of the Choice of Dual Export Channels.”

Akinori Ono and Ryosuke Shimizu, “Negative Impacts of Online Word-of-mouth Communication: The Role of Envy.”

Akinori Ono, Ryosuke Shimizu, and Yongyi Wang, “Does Photo Sharing via SNS Reduce or Enhance Travel Engagement and Enjoyment.”



### 2019/01/17~01/19 : International Marketing Trends Conference (San Servolo)

Mai Kikumori, Ryuta Ishii, and Akinori Ono, “Effects of Perceived Channel Characteristics on Store Preference and Recommendation: The Moderating Role of Regulatory Focus.”



**2019/2/22~2/24 : AMA Winter Academic Conference (Hilton Austin)**

Akinori Ono, Yongyi Wang, and Ryosuke Shimizu, “The Effect of Photo Sharing Via SNS on Consumer Engagement and Enjoyment.”



今年度で中村世名さん、清水亮輔さんが晴れて卒業です。来年度は新たに、修士課程に於詩琦さんを迎えます。第9期OBで東洋大学に勤める竹内亮介さん、第10期OBで今年度から専修大学に勤める中村世名さんも引き続き参加予定の毎週金曜日の大学院ゼミ（10時～13時）と学部ゼミ（14時半～18時）に、是非ご来訪ください。お待ちしております！



2018年度の大学院ゼミメンバー@三ゼミ合同三田論中間発表後



今年度の大学院ゼミ最終授業にて